



最近流行のガーデニングの美しい風景



# はまなす の実

— 第 6 号 —

平成9年9月5日発行

鶴岡学園短期大学同窓会  
札幌市南区藤野400番地

北海道文教短期大学内  
TEL(011)592-7636  
FAX(011)592-7636

## 『鶴』への思い——今——

鶴岡学園短期大学同窓会

会長 北崎 勉子

〈食物栄養学科3期〉



エルニーニョ現象による冷夏の心配されたこの夏でしたが、嬉しい誤算？ でしょうか暑い毎日が続いております。諸姉諸兄の皆様にはますますご健勝にてご活躍の趣大慶に存じます。日頃は同窓会の活動へのご支援とご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。さて、新聞紙上でご存じの方も多いのではないかと思います。母校北海道文教短期大学は平成十一年四月の四年制大学開校にむけて最終的な準備段階に入っております。

『時代のニーズを受け、広く国際社会に羽ばたける人材育成の為に、生きた語学とその背景にいきづく文化』を学び、世界に飛び立って欲しいとの熱い期待を込めてのことと思えますが、英米語学科、中国語学科、日本語学科の3学科で構成される外国語学部での予定と伺っております。

昭和十七年戦局も次第に激しさを増し、厳しい食糧不足による食生活の貧しさからひきおこされる栄養状態の悪

さが憂慮される最中さなかに創設者 鶴岡新太郎・トシ先生の開校された北海道女子栄養学校も五十有余年を経て、その間『食』は満ちたり今はその『食』の質を問われる時代を迎えております。その栄養を基礎にして、末広がりに発展を遂げてきた母校が『世界に羽ばたけ』とのメッセージをもって新たなスタートを目指している姿は創設者のお名前『鶴』に込められてきた思いではなかったのでは……と、ふとそんなことをおもっているこの頃です。

本年も五百四十三名の若い仲間をお迎えし、一段と豊かに、枝が繁って参りました。地方の皆様にはなかなか同窓会にもご出席頂けないのですが、今年は九月二十五日道南支部の皆様にご館でお目にかかって、繋がりをお深められることを楽しみにしております。

同窓会の活動は会員の親睦を計ることが目的です。電話、FAX等利用なすって会報への投稿、ご意見、情報などをどしどしお寄せ下さい。

平穩で平和な日々、母校のますますの発展、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

# 集 置準備委員長」 に聞く

平成11年開学予定です。  
同窓会会長に聞いて頂きました。



会員の皆様には折りに触れ母校の現在の姿をご報告して参りましたが、多くの方が新聞紙上でもご存じのとおり、長年の待望であった四年制大学が平成十一年四月をもっていよいよ開校いたします。これを機会に浅川学長（準備委員長）に紙上対談という形でお話を頂きたいとお願ひ致しましたところ快く承諾頂きまして、今回の企画が実現することになりました。お忙しいところ有り難うございます。

## 四年制大学への熱い思い

北崎 少子化による十八歳人口の減少が深刻化する今、四年制大学を設置しなければという構想を持つに至った学園関係者の方々の『熱い思い』、『エネルギー』等お聞かせ頂きたいと思います。

学長 はい。只今 大学設置関係者が準備に一生懸命がんばっております。この機会に是非同窓生の皆様のご理

解を得たいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

北崎 初めに現在どの様な形で準備が進んでいるのか経緯、経過などお話を頂きたいと思っております。

学長 平成七年度から具体的に計画しました四年制大学の設置状況は今まさに本年九月末の文部省への申請に向けて順調に進行しております。

## 国際社会で活躍

### できる人材養成

北崎 その特色と内容についてお聞かせください。

学長 ご存知のように、日本は国際化



が進展していきます。時代の流れに沿って国際社会で活躍できる人材養成をする事

が大変重要と考え、英米語学科、中国語学科、日本語学科の三学科からなる外国語学部を作ることを決定いたしました。国際化ということは、物、お金、人、文化の交流が外国との間で行われるということですが、それをスムーズにするには外国語によるコミュニケーション能力と外国文化及び、自国の文化である日本文化の理解が必要になります。英米語は世界共通語ですが、更に今後特に必要となるであろう中国語、国内にいる外国人、帰国子女、海外で日本語を学ぶ人に教える日本語教員を養成することが社会的ニーズに応えることであると考えたのです。

このような社会のニーズに対し、中国語学科、日本語学科とも東北以北には大学がありません。従って北海道に中国語学科、日本語学科を設けることは非常に重要であると思われまます。また、恵庭市との間で将来大学を設置するということを約束して、土地を取得した経緯もあります。そういうこと等があり大学設置に至ったというわけであります。

北崎 概要は見えて参りましたが、教育内容についてはどのようにお考えでしょうか。

## 徹底した

### 実践的な語学を！

学長 教育内容についてですが、カリキュラムについては従来の文学中心ではなく、徹底して実践的な語学、聞ける、話せる、そして書く、読む力をつけることが中心になっております。又情報化というところが時代の流れでありますから、情報教育も同時に行事を考えています。教育方法としては外国人教員を出来るだけ多く採用し、本物の外国語に接することと共に、日本人教員との組み合わせ授業等も特色として思っております。少数単位の授業展開をしていきたいと思っております。教員も現在三十二名を確保していますが、内十七名がアメリカ、カナダ、中国からの外国人です。資金面については本学の蓄積したものと恵庭市の支援をうけたものを合わせ、必要な資金は確保出来ております。恵庭市の支援に対して感謝しております。

北崎 これからの大学は内にも外にも開かれたキャンパスであることが望まれるのではないと思っておりますが、そのあたりは如何お考えでしょうか。

# 特

## 「四年制大学設 浅川学長

報道機関で周知のとおり  
経緯・経過合わせて展望などを



のですが。

### 学園の将来は

学長 これからの大学の役割は地域に開かれた、また共生ということが重要であると思います。図書館の市民への開放、公開講座を設け市民への生涯学習に対する貢献、また交換留学の為の外国の学校との提携等準備中であります。

入学者の選抜方法についても新しい方法を導入し、短大からの編入制度を設けたい。定員については平成十一年は各学科五十名とし、編入者は英米語学科・日本語学科で各十名とします。平成十二年度からは英米語学科の定員を百名にする計画です。北崎 具体的に今在る学園がどのような形に姿をかえて更なる発展をとげていってほしいのか等その方向性に向けてのお考えなど伺いたいと思う

学長 十八歳人口減少と受験生の高学歴化ということで、短大から四年制大学へ志願する学生が多くなっています。本学としては将来長く社会が必要とする人材育成ということとで外国語学科をつくることとなつたわけですが、現在ある食物栄養学科、幼児教育学科、生活文化学科については、改組転換するというところで、各学科の内容については、まだ理事会では決定しておりません。ただあくまでも個人的見解ではありますが、食物栄養学科は栄養士養成を目指して長い歴史があり、卒業生も多数にのぼり色々な場所に於いてリーダー

的役割をしていることはご承知のとおりです。しかしこれからは栄養士から管理栄養士への移行というのが社会の要請であります。こういう認識のもとで考えると管理栄養士養成をいかにするかということが大切な経営上のポイントではないかと思っております。その為には、四年制大学にする。二年制の専攻科をつくる、また、卒業生のアフターケアとして、管理栄養士試験対策のための講座を設けること等三つの方法が考えられます。

北崎 その講座については同窓会の方でも他学科との兼ね合いもあって難しいところもあるとは思いますが、母校が開くといふときには後援という形で参加してはどうかという声もあります。学長 終りに先にお話をした入試方法についてですが、同窓会推薦による学生の受入れも可能ではないかと考えております。どんな問題点があるのかはこれからの検討課題ではあるが、積極的に進めていきたい。北崎 入試担当の先生にお目にかかって詳しいお話をお聞きしました。同窓会としては母校の発展のために、時代のニーズにあった『やる気のあ



る、素敵な学生』を推薦出来たらいいなあとは思っております。これから進めていくお話ではありますが。

### やる気のある素敵な学生

学長 二代(母と子)、三代(祖母と母と子)が母校で勉強出来るという事が実現すれば大学にとっても非常に喜しい事です。

北崎 二代、三代で入っていて『お母さんもおばあちゃんもそうなのよ』と誇りに思っている時代が来た時、それは私達にとっては素晴らしい歴史ではないかと思っております。

学長 是非実現の方向に向かって頑張っていきたいと思っております。

北崎 私達も同窓会として出来ることはなんでもしていききたいと思っておりますが、やっと四年制大学が実現するわけですから、この先益々学園が発展されるようお祈り致しましてこの対談を終えたいと思っております。長時間ご協力頂き本当に有り難うございました。



# 根 釧 支 部 報 告

## 「懇親会を振り返って」

根釧支部 支部長

山 田 敏 子

〈食物栄養学科3期〉



今年の根釧も例年のごとく冷夏ですが、同窓会員の皆様には、お元気で活躍でしょうか。昨年の〇一五七・今年の〇一六・ボツリヌス菌と、病院、学校給食に携さわっている会員の皆様には、大変だろうとお察し致します。

そんな中で昨年九月に根釧地区で懇親会を開いてほしいとの依頼でした。私も支部長を受けて一年たらずでしたが、何をしても良いか困っておりまして、大学側、同窓会役員のお力を借りて無事に開く事が出来ました。当日は三十数名のご出席をいただき、浅川学長、佐々木理事長のお話の後、新旧混じえて会食となりました。一人一人の紹介があり、在学中の寮の事、調理実習、お弁当作り等、思い出話に花が咲きました。短大一期生の方からは、娘さんが、お母様と同じ様に栄短に行ったとか、時代の流れを、しみじみ感じ

させられました。「またこの様な会合をしてほしい」とか「各期ごとに集りたい」とか、前向きな意見が出されました。今後同窓会に、より多くの会員の方々が出席される為にも、一人一人が横のつながりを強くしていただきたいと思えます。

根釧地区も広い範囲ですから、次回

## 根釧支部

### 合同懇親会に出席して

永 野 満 子

〈食物栄養学科3期〉



友人に誘われて根釧支部合同懇親会に出席する事になり当日会場のパンフィックホテルに向かいました。ひさしぶりに級友に逢えると思うと胸が高鳴ります。会場に入るとなつかしい佐々木先生、又級友の顔が目飛び込んで来ました。近況報告や在学中の思い出話など話が弾みます……。ふと十代の学生の頃にタイムスリップしたように当時

に懇親会が出来る事があれば「根室」でもと思えます。この様な機会がなければ卒業してからクラスメイトに会う事も少ないと思えます。大学も同窓会も大きく育てて行く為にも皆様方のご協力をお願い致します。この様な会を作って下さいました大学側、役員の皆様方に、無事役職を果せました事に心からお礼申し上げますと共に、会員皆様に感謝致しております。

ありがとうございます。

の思い出が次から次へと浮かんで来て頭の中を駆けめぐります。

あの急な坂道を汗を流しながら登校した夏の日、又、秋に裏山に薪を集めに行った日、寮で過した四人一室の共同生活、その一つ一つが懐かしく思い出となりました。寮の室は二段ベットで中央にストープ、ベットの端に机が四つ並んでいました。北見からいらした方と同室で、この方は現在道東の支部長をなさっている後藤田(旧 中島)倫子さん、他は釧路勢の小野(旧 中村)好江・青島(旧 小林)美智子さんそして私の四人でした。現在も活躍なさっている後藤田さんは、その当時からリーダーシップをとっていました。そうそうそれから調理実習の時にお世話になった中尾先生も釧路の方です。当時の当番制の食事作りで朝が早く寝坊をしたエピソードなど話がつぎ

アツと言う間に時間が過ぎてしまいました。現在は学校も文教短期大学と改称し後輩の方々もそれぞれの分野で活躍されており頼もしく感じました。この席の懇親会に当たりお骨折りいただきました会長の北崎迪子さん又支部長の山田敏子さんご苦勞様でした。



〈根釧支部合同懇親会記念〉



おかみから女将への内緒話



田中 アヤ子

(栄養学校21期)

(旧姓 国方 綾子)

私共が学んで居た頃の札幌は北24条が市電の終点でその向こうは畑でまだまだ田舎でした。北大のボプラ並木を友と語り散歩したものです。卒業後病院の栄養士として勤務し諸先輩に恵ぐまれ十五年勤めましたが、前会長がお元気な頃は北見で管内の卒業生に声を掛け良く同窓会等も開きました。鶴岡先生に手ほどきを受け

た華道もその後も続け、それらが幸いに病院でも認められ暗くなりながら院内の各所に色々な花が咲き乱れ患者さんの心を和ませた事と思えます。その時始めて鉄を握った婦長が今は指導者として活躍中嬉しい限り、私と云えば旅館のおかみとして日夜多忙な毎日にのめり込んで行く事になり、献立・仕入れ・調理・お届けと毎日が小走りでした。気むづかしいお客様にメイドさんお手上げ、

まかせてとばかりに部屋に伺い挨拶なんとか納めて戻ると、大雨の中キャンプをする筈だったけど子供さんが熱を出して戸惑う家族連れ、自分達の部屋を片付け落ち付いてもらい、なんとかホッとする間もなく団体のお客様への料理の説明が待っています。

お帰りには笑顔で一人一人の目を見て別れ、バスが見えなくなると昼食の用意が待っています。おかみとしてのコツはチョツとした心使い、笑顔と常に頭上でアンテナを廻していれば誰でも勤まる仕事だと思いません。人様からして頂くのではなく人様にさせて頂ける事の喜びへと私の人生は変わって行きました。

電話の声も二言で相手が解る様に、受ける声は夏バテもはねのける様に。でも物忘れも天下一。旅館の前に止めてた車がない。「ああ警察に届けなくちゃ」とりあえず銀行へ小走りで行くと、見覚えのある車がブルブル……。数分前に来た時乗らずに歩いて帰ったのです。数えりやきりがない物忘れ。でも知人が四国へ行つて乗ったバスのガイドさんが斜里の田中屋へ泊り高熱を出し私が看護した事を話してくれたそうです。裏側の私はドジな妻、母でも女将になると背筋をピンと伸ばし大きな声でいらっしやいませ、頑張るのみです。

平成9年度予算

自 平成8年10月1日  
至 平成9年9月末日

平成8年度決算

自 平成7年10月1日  
至 平成8年9月末日

収入の部

(単位：円) 収入の部

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考, 計. Rows include 前年度繰越金, 会費, 利息収入, 名簿代, 計.

Table with 6 columns: 科目, 予算, 決算, 備考, 計. Rows include 前年度繰越金, 会費, 利息収入, 名簿代, 計.

支出の部

(単位：円) 支出の部

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考, 計. Rows include 総会費, 卒業記念品費, 印刷費, 通信費, 事務消耗品費, 会議費, 交通費, アルバイト料, 名簿整理費, 研修費, 予備費, 基本金積立, 次年度繰越金, 計.

Table with 6 columns: 科目, 予算, 決算, 備考, 計. Rows include 平成7年度総会及び懇親会, 卒業記念品費, 印刷費, 通信費, 事務消耗品費, 会議費, 交通費, アルバイト料, 名簿整理費, 研修費, 予備費, 基本金積立, 次年度繰越金, 計.

平成9年度事業計画

- 一、同窓会名簿の整理
二、平成8年度卒業生への記念品贈呈

- 三、研修会(講演会、講習会、見学会等)の開催
四、会報の発行(第六号を先行予定)
五、支部の充実(道南支部と文政短期大学との合同懇親会を開催予定地)
六、規約改正
七、その他

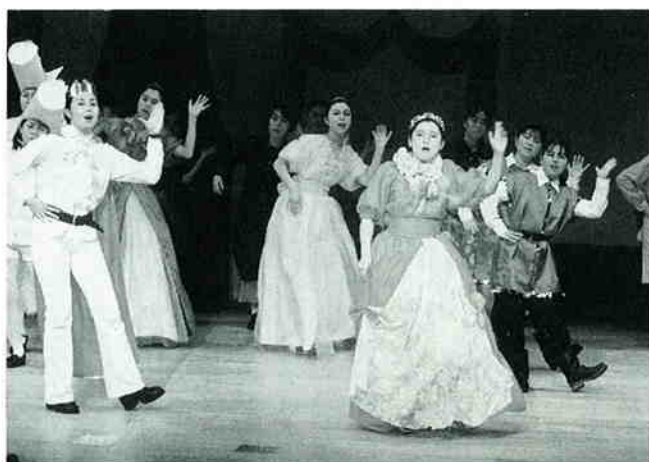
# 音楽フェスティバルによせて

幼児教育学科

助教 平松昌子



皆さんは音楽とひと口でいうと、どのスタイルを思い浮かべるのでしょうか。幼児に音楽を私たちが体験させるとき、幼児の行動や環境等と合わせ、遊び等を組み入れた形へ変化させて与えることが多いものです。ですから幼児教育学科の学生には教養の音楽ばかりでなく、種々の音楽パターンを想像したり、具体的手段へと発展できる幅広い学習も必要なわけです。一方、カリキュラムの中で音楽は分野別に分けられてありピアノ実技をはじめ、子どもの歌のために声楽、他楽器の演奏やリズム感覚を養う身体運動等を学んでいます。しかし、これらや他の科目で学習したものを総合的に組み合わせた表現方法で発展する場合がありますませんでした。



の賛助出演が加わった第三回教育文化会館ホールでの公演を機会に「音楽フェスティバル」と名称も変わり、翌年には札幌の中央区に新しいホール「かでの2・7」が出来て以来、毎年十一月初めにここを使用して上演するのが恒例となっています。上演にあたり児童や童謡等をベースに、実際にはミュージカル、音楽人形劇、ピアノ演奏、合唱や幕間まで活用した形で発表してい

# 旅行記

ドイツ・スイス・フランスへ

斉藤道子

〈食物栄養学科1期〉

日本を後にして、一路ドイツのフランクフルト空港へ、現地時間で十七時四〇分頃到着、空港内は日本ツアー客でいっぱい。荷物の出てくる間に両替所へ、まずは日本を脱出したのである。異国を意識して、緊張した体はわず

行者って、こんなにいるのかなあ！しかも、こんな笑顔で、いい顔してる。三時間後はローデンブルクへ、山小屋風のプチホテルが、今晚の宿、サーモンピンクの外壁はおとぎの城みたい。

かばかりふるえておりました。その後ホテルへと、夕食はレストランで、食べる事の好きな私としては、期待してテーブルについたのですが、ツアー料金の安い旅行のためか、連日裏切られっぱなし、お国柄ポテトが主で、旅行中印象に残った食べ物は、フランクフルトのドイッパン、ローデンブルグのハムとチーズ、ミュンヘンのビール、パリのムール貝とサケのムース、そうそうハイデルベルクで食べた、カシスのアイスクリーム、冷めたくて美味しかった。



「ジュネーブ・ローヌ河を背に」

翌日は、リュードンハイムにて、ライン河クルーズ、古城をみながら一時間船上では日本人女性が、甘いドイツワインを売る姿もありました。下船後ハイデルベルク城へ、老人旅行者が、それぞれ笑顔で、おしゃべりしながら歩いている事、日本では老人だけの旅



からも多くの嬉こびを得れる大切な場となっておりませう。  
 いよいよ本年の音楽フェスティバル練習の季節が夏休み終了と共にやってきます。今年もこれまでご支援して下さった人々や会場の皆さんと一緒に喜びがわかちあえるようなステージとなるように、学生達と一丸となり準備をして行きたいと思っています。

「音楽フェスティバル」  
 平成九年十一月八日(土)  
 四時三十分～六時三十分頃(予定)  
 入場料 無料  
 会場 「かでの2・7ホール」  
 札幌市中央区北二西七

ます。これらの発表を通して学生達は普段の授業では体験しがたい感動や会場に來た子ども等との出会いのなかか

### 桂 三枝師匠の講演に 出席者心とむ

昨年の事業計画の一環として開催された「落語家の桂 三枝師匠」をお招きしての講演は成功裡に終わりました。若干観客不足の感もありましたが、日本文化、中央文化にふれた感がありました。



△気軽にサインに応ずる桂 三枝師匠▽

TEL(〇一一)二七一―五五二七  
 (問い合わせ) 音楽研究室  
 TEL(〇一一)五九一―八五三二



「ノインシュタイン城をみる」

りです。街全体が城壁に囲まれ守られていたと……。夜広場で中世スタイルの人々が行列をなしてました。

翌朝はロマンチック街道を経てミュンヘンへ。ここは札幌とは姉妹都市で、ビールの美味しい事、そして夜はなかなか暮れませんでした。

四日目、白鳥の城といわれるノインシュタイン城へ、外観もすばらしいのですが、城内の壁画、置物、旅行中のノートルダム寺院のステンドグラス、ベルサイユ宮殿の内装、華やかで艶やかで、感動いたしました。

スイスのユングフラウヨッホ登山は霧で景色はみえず、高山病が胸苦しい思いだけが残っています。その後のジュネーブは欧州国連本部のある所レマン湖の水を吸い上げての噴水は圧巻といえましよう。

翌朝は早く七時二十分のTGVにて、一路パリへ、セーヌ河からみたエッフェル塔は夜空に映えて美しく、ムーランルージュ入口正面のロートレックの絵が、にせ物だったとは……。ルーブル美術館のモナリザとは対面したのですが、オルセー美術館へは、大雨にあり行けなかった事、とても残念でした。そしてもう一つ残念な事は、カメラをパリのバスの中に置き忘れてきてしまった事です。

後にはこのホテルをスケッチし、四号の油絵にしてみました。  
 旅行中で、この街が一番のお気に入り

# 平成九年度 同窓会総会のご案内

日時 平成九年十月四日(土)

受付 午後五時三十分

総会 午後六時

懇親会 午後七時

場所 札幌東急ホテル

札幌市中央区北四条西四丁目

☎(〇一一)二三一―五六二―番

会費 五、〇〇〇円(懇親会出席者のみ)

## ◆新役員◆

- 会長 北崎 廸子(食3)
- 副会長 長澤 愛子(食4)
- 常任幹事 橋本美佐子(栄1)
- 工藤 祐司(食26)
- 永沼 恵子(幼26)
- 市田 信(栄19)
- 北川 幸子(栄4)
- 田中 律子(食12)
- 阿部 継子(栄13)
- 佐野喜和子(食11)
- 西野 英子(幼11)
- 小向 朝子(幼12)
- 豊島 琴恵(食23)
- 舛田 真弥(幼14)
- 鈴木 栄子(栄15)
- 高橋恵美子(食13)
- 石井 千章(幼14)

同窓会事務局(札幌市南区藤野四〇〇番地・北海道文教短期大学内)  
直通専用電話(アルバイト不在時 留守電可)

☎(〇一一)五九二―七六三六番

ファックスも兼用になっておりますので、どしどしご利用下さい。

## 短大のオリエンテーション開かれる

法華メルキュール函館にて合同の懇親会を開きます。多数ご参加下さい。

日時 九月二十五日(木)六時三〇分

場所 法華メルキュール函館

会費 二、〇〇〇円(写真代込み)

連絡は道南支部長 小野幸子さん

☎(〇一三六)二二一―〇〇三三

☎(〇一三六)二二一―〇五〇六

同窓会長、その他役員出席予定

## 【平成十年入試予定】

帰国子女、外国人留学生、転入学生を対象とした特別入試もあります。詳しくは短大入試事務局へ。

学 科 等	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手續締切日
推薦	生活文化学科 平成9年 11月15日(土) 幼児教育学科 ~11月27日(木) 食物栄養学科	12月2日(火)	12月8日(月)	12月18日(木)まで
I 期	生活文化学科 平成10年 1月10日(土) 幼児教育学科 ~1月26日(月) 食物栄養学科	2月2日(月)	2月7日(土)	2月17日(火)まで
II 期	生活文化学科 平成10年 2月10日(火) 幼児教育学科 ~2月25日(木) 食物栄養学科	3月3日(火)	3月6日(金)	3月16日(月)まで
別科 (調理専修1年課程)	上記の3学科の推薦、I期、II期のそれぞれと同じ期間	上記推薦、I期、II期の各試験日	上記推薦、I期、II期の各発表日	上記推薦、I期、II期の各締切日
専攻科 (食物専攻)	上記の3学科の推薦、II期のそれぞれと同じ期間	上記推薦、II期の各試験日	上記推薦、II期の各発表日	上記推薦、II期の各締切日

札幌校舎 (011) 591-8531 恵庭校舎 (0123) 34-0011

## 編集後記

価値観、多様化といった言葉を頻繁に目に、耳にするようになって久しくなります。

最近はいろんな事がおこっています

価値判断が出来て、さまざまな事があっても自分自身を持ち、他人に流されない(我をとおすすめではない)。

団体の中にあつては、協調性を持っていたい。

## お詫び

前号の紙面上、藤田倫子さんの文中に誤りがあり、ご迷惑をおかけしました事、お詫び申し上げます。

## 編集委員

- 北崎 廸子・出島 秀子
- 斎藤 道子・松木 寛美
- 渡部 祐子・西家 史恵
- 梅本久美子・小宅 麻美

発行所 鶴岡学園短期大学同窓会

会長 北崎 廸子

編集委員長 斎藤 道子

札幌市南区藤野四〇〇番地

電話(〇一一)五九二―七六三六番

(※題字は浅見晴江さん(食4期)による)